

令和 2 年度

刈谷市教育委員会点検・評価報告書

(平成 31 年度事業対象)

刈谷市教育委員会

目 次

第 1 章 点検・評価の概要	P 1
第 2 章 教育委員会の活動状況	P 4
第 3 章 総合計画に基づく施策の評価	P 9
第 4 章 点検・評価の結果	P54
参考資料	P57

第1章 点検・評価の概要

1 趣旨

平成20年4月1日に施行されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図って点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

本市の教育委員会においても、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の会議や教育委員会委員の活動を始め、第7次刈谷市総合計画に基づき、教育委員会事務局が実施した事務事業について点検・評価を行いました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の実施方法

第7次刈谷市総合計画に掲げる将来都市像「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現に向けて推進する5つの基本方針のうち、教育文化分野「生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり」に位置付けられた6つの基本施策の具体的な施策の内容（以下「小施策」という。）を構成する事業について事務事業評価シートにより、点検及び評価を行いました。

刈谷市教育委員会事務点検・評価では、教育委員会が行った事務事業評価から選定した事業の結果について、学識経験者（外部評価委員）から意見をいただきました。

外部評価委員

愛知教育大学 学長 ^のだ ^{あつ}のり
野田 敦敬 氏

○総合計画に基づく施策

【教育文化分野に関する総合計画の基本施策と小施策】

基本方針	基本施策	施策の内容（小施策）
教育文化分野	1 学校教育	1) 教育内容の充実 2) 安心・安全で地域に開かれた学校づくり 3) 学校施設・設備の整備・充実 4) 児童生徒へのきめ細やかな対応 5) 学校給食の充実
	2 青少年育成	1) 家庭教育の推進 2) 青少年を取り巻く環境の整備 3) 青少年の自立支援と社会参加の促進
	3 生涯学習	1) 学習機会の充実 2) 学習活動の支援 3) 生涯学習施設の利用促進
	4 スポーツ	1) スポーツ活動プログラムの充実 2) クラブ・団体の育成 3) スポーツ施設の整備・充実・開放 4) スポーツ指導者の育成
	5 文化・芸術	1) 鑑賞・体験の機会づくり 2) 創作・発表の機会づくり 3) 活動の支援体制の充実 4) 文化芸術の拠点づくり
	6 歴史・文化財	1) 刈谷市城址の整備 2) 歴史博物館の整備 3) 文化財の保護・伝承・活用 4) 歴史の啓発

【今年度の評価項目】

評価対象事務事業	担当課
(基本施策) 4 スポーツ (小 施策) 1) スポーツ活動プログラムの充実	スポーツ課
(基本施策) 1 学校教育 (小 施策) 1) 教育内容の充実 体力向上プロジェクト推進支援事業 (小 施策) 4) 児童生徒へのきめ細やかな対応 部活動指導者活用事業	学校教育課

3 外部評価の視点、委員に求める意見・提案



第2章 教育委員会の活動

教育委員会は、都道府県や市町村等に置かれる行政委員会の一つで、合議制の執行機関です。教育長と委員の合議により基本的方針を決定し、その方針・決定をもとに教育長が事務局を指揮監督し、教育行政を執行しています。

1 教育委員会の構成（令和2年10月1日現在）

職名	氏名	任期	期数
教育長	金原 宏	(令和元年10月1日就任) 令和4年9月30日	1
教育長職務代理者	石田 芳加	(平成29年10月1日就任) 令和3年9月30日	1
委員	鶴田 英孝	(平成30年10月1日就任) 令和4年9月30日	1
委員	浅井 優	(令和元年10月1日就任) 令和5年9月30日	1
委員	小川 耕示	(令和2年10月1日就任) 令和6年9月30日	1

2 教育委員会会議の開催状況

平成31年度における教育委員会の会議は、毎月1回の定例会を開催し、49件の議案について審議を行いました。教育委員会会議は、原則公開としており、会議録はホームページ等で開示しています。

会議で審議された議案は、以下のとおりです。

開催日	議題
4月 定例会	<ul style="list-style-type: none">○専決処分（刈谷市学校給食センター運営委員会委員の委嘱）○専決処分（刈谷市学校給食アレルギー対応給食事業実施委員会委員の委嘱）○専決処分（学区外就学）○専決処分（刈谷市公民館長の解職及び任命）○専決処分（刈谷市社会教育委員の解職及び委嘱）○専決処分（刈谷市図書館協議会委員の任命）○専決処分（刈谷市スポーツ推進審議会委員の解職及び任命）○専決処分（刈谷市スポーツ推進委員の解職及び委嘱）○専決処分（刈谷市立小中学校学校体育施設スポーツ開放運営委員会委員の委嘱）○専決処分（刈谷市立小中学校学校体育施設スポーツ開放管理指導員の委嘱）

開催日	議 題
5月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年6月刈谷市議会定例会提出議案（令和元年度刈谷市教育費6月補正予算、損害賠償の額を定める専決処分、工事請負契約の締結）に関する意見の聴取 ○幼稚園の廃止及び幼保連携型認定こども園の設置に伴う関係規則の整備に関する規則の制定 ○刈谷市生涯学習センター条例施行規則の一部改正
6月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○専決処分（学区外就学）
7月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学） ○専決処分（刈谷市立小中学校体育施設スポーツ開放管理指導員の委嘱）
8月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年9月刈谷市議会定例会提出議案（令和元年度刈谷市教育費9月補正予算、教育委員会教育長の選任、教育委員会委員の選任、条例の一部改正、指定管理者の指定）に関する意見の聴取 ○子ども・子育て支援法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 ○刈谷市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の廃止 ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学）
9月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学）
10月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度教職員定期人事異動方針 ○専決処分（学区外就学） ○専決処分（刈谷市中央公民館長の解職及び任命） ○専決処分（刈谷市立小中学校体育施設スポーツ開放管理指導員の委嘱）
11月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年12月刈谷市議会定例会提出議案（令和元年度刈谷市教育費12月補正予算、条例の一部改正、指定管理者の指定）に関する意見の聴取 ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学）
12月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学） ○専決処分（刈谷市立小中学校体育施設スポーツ開放管理指導員の委嘱）
1月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○学区外就学

開催日	議 題
2月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年3月刈谷市議会定例会提出議案等（令和元年度刈谷市教育費3月補正予算、令和2年度刈谷市教育費当初予算、条例の一部改正）に関する意見の聴取 ○令和2年度刈谷市の教育一般方針 ○刈谷市郷土資料館の管理運営方法の変更に伴う関係規則の整備に関する規則の制定 ○刈谷市郷土資料館処務規則の制定 ○刈谷市教育委員会事務局処務規則の一部改正 ○刈谷市教育委員会所管事務専行規則の一部改正 ○刈谷市立学校管理規則の一部改正 ○刈谷市教育指導員設置に関する規則の廃止 ○刈谷市地区公民館役員設置に関する規則の制定 ○専決処分（学区外就学）
3月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年3月刈谷市議会定例会提出議案等（令和元年度刈谷市教育費3月補正予算、工事請負契約の変更）に関する意見の聴取 ○刈谷市奨学会会則の一部改正 ○専決処分（学区外就学）

☞ 上記議題の他、各課定例報告（学校給食献立、児童生徒数、各種行事予定、施設利用状況）、学校で対応に苦慮している案件について意見聴取、市議会及び市民文教委員会の教育に関わる質問事項について報告を適時行い、各委員の立場や考えにより、積極的に意見交換を行っています。

3 その他の委員活動

項 目	内 容
総合 教育会議	<p>● 総合教育会議（1/30） 意見交換テーマ『教育大綱に求めるもの』</p> <p> 内 容 令和3年度の教育大綱の見直しに向け、各種施策の実施状況の説明と、教育大綱に求めるものなどの意見交換を実施。</p>

項 目	内 容
研究 発表会	<p>富士松中学校（10/16） 研究主題『確かな学力を身に着けた「強い富士中生」の育成』</p> <p>衣浦小学校（10/18） 研究主題『共に学び合う授業の創造～仲間とかかわり合いながら生きる力を育む道德の授業～』</p> <p>小垣江東小学校（11/1） 研究主題『自ら問題を見つけ、友達とともに考え、学ぶ喜びを実感する子の育成』</p> <p>刈谷特別支援学校（2/21～22） 研究主題『刈谷特別支援学校における実践研究（学校における医療的ケア実施体制構築事業を含む）』</p>
学校訪問	<p>目 的 学校の実態を把握するとともに、学校教育推進上の問題点について指導・助言し、現職教育の推進と充実を図る。</p> <p>訪問者 教育長、教育委員、教育部長、学校教育課長、教育総務課長、指導主事等</p> <p>内 容 公開授業及び諸帳簿の点検</p> <p>着眼点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の心に寄り添う指導の展開状況 ・教職員の健康管理に向けた取組の状況 ・創意ある学校づくり及び教員の資質向上への取組の状況 ・児童生徒の自己肯定感と自己有用感を育む取組の状況 ・基礎的・基本的な事項の定着とそれらを活用する力を高める指導の工夫の状況 <p>実施校（研究発表校を除く学校） 富士松南小（6/10）、朝日中（6/12）、富士松東小（6/21）、東刈谷小（6/24）、かりがね小（7/1）、特別支援学校（7/3）、雁が音中（7/11）、朝日小（10/4）、住吉小（10/7）、富士松北小（10/10）、亀城小（10/15）、双葉小（10/23）、刈谷東中（10/24）、依佐美中（10/28）、刈谷南中（10/31）、日高小（11/7）、平成小（11/14）、小垣江小（11/15）、小高原小（11/18）</p> 

項 目	内 容
式 典	卒業式（中学校 3/3、小学校 3/19） 修了式（幼稚園 3/18）
講演会	<p>●刈谷市児童生徒愛護の集い（7/9） 講演会テーマ『スマホを持たせるのは遅い方がよい』</p> <p>☑内 容 刈谷市内の青少年対策関係者が一堂に会し、夏休みに向けた生徒指導の計画や講演会等を通して、児童生徒の健全育成への意思統一を図る。</p>
研修視察	<p>☑目 的 教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員会の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る。</p> <p>☑研修先 おおぶ文化交流の杜（10/30）</p> <p>☑研修内容 市民が「ネクスト・ステージ」に飛躍するための場となる図書館、ホール、レストランなどをあわせ持つ文化交流施設の見学。</p>
その他	<p>●西三河地方教育事務協議会（4月、5月、11月、2月） ●西三河教科用図書採択地区協議会（5月、7月） ●愛知県市町村教育委員会連合会（7月） ●刈谷市奨学会（4月、10月、1月、3月） ●刈谷市PTA連絡協議会（5月、12月） ●刈谷市総合式典（5月） ●刈谷市教育研究会（4月） ●新成人の集い（1月）等</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p style="text-align: center;">【刈谷市総合式典】</p>

第3章 総合計画に基づく施策の評価

【評価項目】

評価対象	担当課
(基本施策) スポーツ (施策の内容) スポーツ活動プログラムの充実 ホームタウンパートナー事業 国際スポーツ大会等招致事業 各種大会補助事業 愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派遣事業 各種大会開催事業 ニュースポーツ普及事業 各種大会出場選手激励事業 かきつばたマラソン大会開催事業	スポーツ課
(基本施策) 学校教育 (施策の内容) 教育内容の充実 体力向上プロジェクト推進支援事業 (施策の内容) 児童生徒へのきめ細やかな対応 部活動指導者活用事業	学校教育課



2-4 スポーツ

現状と課題

関連計画

第2次刈谷市生涯学習推進計画
2005年～2014年
第2次刈谷市スポーツマスタープラン
2009年～2018年



めざす姿（生活像）・目標指標

用語解説

スポーツは多様な側面を持ち、スポーツを“する”、“みる”、“ささえる”と人それぞれの関わり方があります。市民のスポーツ活動には、教室、イベント、大会に参加しての活動、クラブ、サークル、団体に所属しての活動、トップリーグなどを試合観戦しての活動、地域のスポーツリーダーとしての活動といった様々なスタイルがあります。

そして、スポーツ活動を推進するためには、市民のニーズに応え、誰でもスポーツがしたくなる、できる、続けたいとなる環境づくりに努める必要があります。

本市では、ウィングアリーナ刈谷や体育館の武道施設などのスポーツ施設の整備を進める一方で、スポーツ教室の開催、スポーツ関係団体の育成を図るとともに、地域の中で気軽にスポーツに親しむことができるように地域密着型の総合型地域スポーツクラブの設立に努めてきました。

今後は、スポーツマスタープランの目標である「だれもが生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じ、主体的にスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会」の実現に向け、引き続き、活動プログラムの充実、クラブや団体の育成、施設の整備や充実、学校施設などの開放、指導者やリーダーの育成などを進めていく必要があります。

また、スポーツの振興には、行政のみならず、各種スポーツやレクリエーション団体、クラブ、学校、企業などがそれぞれ重要な役割を果たしています。これらの団体や機関が連携することにより、スポーツ振興に取り組むことが求められています。

総合型地域スポーツクラブの活動の活性化を図り、地域の中で気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりが必要です。

めざす姿 ～まちの状態～	現状値	目標値	
		2015年	2020年
<ul style="list-style-type: none"> ●身近に利用しやすい施設があります。 ●スポーツに関する情報を手軽に得ることができます。 	スポーツ施設の利用者数		
	372,842人	430,000人	450,000人
	総合型地域スポーツクラブ加入者数		
	2,233人	4,200人	6,000人

めざす姿 ～市民の暮らし～	現状値	目標値	
		2015年	2020年
<ul style="list-style-type: none"> ●多くの市民がスポーツに親しんでいます。 ●身近に経験豊富な指導者がいます。 	週1回以上スポーツをしている市民の割合		
	38.9%	45%	50%
	スポーツリーダー養成講座修了者数(延べ)		
	1,156人	1,500人	1,750人

- 総合型地域スポーツクラブ……子どもから高齢者、障害のある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が参加できる、地域住民が自主的・自発的に運営する総合的なスポーツクラブ。
- ユニバーサルデザイン……できる限り、すべての人が使いやすい製品・環境をデザインすること。
- NPO……Non Profit Organizationの略で、民間非営利組織のこと。非営利すなわち営利を目的とせず公益的な市民活動を行う民間団体の総称。

1) スポーツ活動プログラムの充実

2013 2016 2020

① 目的やニーズに応じた教室や講座などを開催し、市民がスポーツ活動に参加できる機会を提供します。			
② 国内トップリーグなどの試合を誘致し、レベルの高い試合が観戦できる機会を提供します。			
③ 身近な場所でスポーツに親しむことができるよう、体育指導委員の活動を支援します。			
④ 市民がスポーツに興味や関心を持ち、スポーツ活動に参加できるよう啓発に努めます。			

2) クラブ・団体の育成

2013 2016 2020

① 地域のスポーツ振興に加え、スポーツを通じた地域コミュニティの形成や青少年の健全育成、高齢者や障害のある人の社会参加の場と期待される総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。			
② スポーツ関係団体の活動の充実や組織力の強化を支援し、人口の拡大や普及振興を図ります。			

評価対象施策

3) スポーツ施設の整備・充実・開放

2013 2016 2020

① 逢妻川の河川敷を利用して、新たな運動広場の整備を進めます。			
② スポーツ施設、学校体育施設の適正かつ効率的な運営に努めるとともに、施設の利用率の向上を図ります。			
③ ユニバーサルデザインに配慮し、多くの市民が利用しやすい施設となるよう整備を推進します。			

4) スポーツ指導者の育成

2013 2016 2020

① 総合型地域スポーツクラブの指導者を中心に、スポーツの多様な楽しみ方や適切な技術指導など、幅広くスポーツマネジメントができる豊かな人間性と管理能力を備えた指導者の育成を図ります。			
② 地域に密着したスポーツ活動を活性化し、生涯スポーツを推進するため、体育指導委員をはじめ市民に身近な立場の推進役となるリーダーを育成します。			
③ 様々なスポーツ分野の指導者が連携し、相互に情報を交換し、知識や情報を共有できるネットワークづくりを推進します。			

行政のみならず、総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体、学校、地区組織、事業者、ボランティア・NPOなど多様な主体が、スポーツにふれる機会を創出し、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

 市民 の役割	 団体・事業者 などの役割	 行政 の役割
<p>ライフステージに応じて、スポーツ活動に参加します。また、スポーツを通じた仲間づくりに努めます。</p>	<p>各主体の特性をいかし、市民が気軽にスポーツに参加できる機会の創出に努めます。また、指導者やリーダーの育成にも努めます。</p>	<p>気軽にスポーツができる施設整備に努めるとともに、スポーツ教室などを開催し、スポーツに親しむきっかけづくりを推進します。また、スポーツ関係団体や学校、事業者などのネットワークづくりに努めます。</p>
自 助	互 助	公 助

2-1 学校教育

現状と課題

めざす姿（生活像）・目標指標

用語解説

本市では、子どもの「生きる力」を育むことに重点を置き、小中学校においては、少人数学級や少人数授業の重視、発達障害児への支援補助員の配置、小学校外国語活動の導入に対応したALTの配置などを通して、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めてきました。中学校では、生徒の職場体験学習をはじめとする各種体験を通して、社会で働く心構えや豊かな心を育む教育の推進にも取り組んできました。

不登校、非行、いじめなどの児童生徒の心の問題に対しては、学校、家庭、地域が一体となって取り組み、児童生徒が社会や仲間たちとの関わりを意識し、自らの個性と可能性を伸ばし、他者の気持ちを大切にしていけるよう、心を育てる教育や教育相談体制の充実、情報モラル教育などを総合的に推進してきました。

新学習指導要領でも、引き続き「生きる力の育成」という理念の共有の下、基礎的基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力などの育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立、豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実などが求められています。そのためにも、少人数学級や少人数授業の充実などを図り、今まで以上に児童生徒一人ひとりに対応したきめ細かな指導に努めるとともに、地域や企業などの外部の人材を積極的に活用し、幅広い教育力を活用していきます。

最近では食育の大切さが求められるようになりました。学校給食は、児童生徒が食に関して総合的に学習する場であり、食習慣の改善について家庭への啓発を進める機会でもあります。

また、本市の校舎や体育館は、昭和30年代頃から順次整備されたものが多く、耐震補強工事は完了したものの、教育施設の老朽化に対応していく必要があり、より良い教育環境と安全性を確保するため、校舎や体育館の計画的な改修や改築工事を進めていく必要があります。

めざす姿 ～まちの状態～	現状値	目標値		
		2015年	2020年	
●個に応じたきめ細かな指導が行われています。 ●地域の人材を活用して幅広く教育活動が行われています。	小学校における少人数授業非常勤講師数	30人	40人	50人
	中学校部活動外部指導者数	18人	24人	30人
めざす姿 ～市民の暮らし～	現状値	目標値		
		2015年	2020年	
●児童生徒が楽しく学習し、確かな学力や豊かな心、健康な体を身につけています。 ●児童生徒が安全で栄養豊かな学校給食を食べ、健やかに成長しています。	学校が楽しいと思う子どもの割合	90.9%	92%	93%
	給食が好きな子どもの割合	90.7%	92%	93%

- ALT……Assistant Language Teacherの略で、小中学校へ派遣する英語指導助手のこと。教師の指導を補助して英語教育の充実に努めるもの。
- 食育……生活していく上での基本として、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を通じて人間を育てること。
- スクールカウンセラー……児童生徒の臨床心理に関して高度な知識と経験を有する専門家を小中学校に配置して、いじめや不登校などの問題行動に対応するもの。
- 行事食……入学祝い、こどもの日、七夕などの時期にあわせた給食。
- リクエスト献立……義務教育期間に食べてきた給食の中で、思い出の給食となるよう中学3年生を対象に、献立写真からおかず、ごはん、デザート類をそれぞれ選択できる献立。
- 地産地消……地域の消費者ニーズに即応した農業生産と、生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結びつける取組み。

1) 教育内容の充実

2013 2016 2020

① 児童生徒が社会の変化に対応できる能力を身につけることができるよう国際理解、環境、情報、福祉、健康などの教育を推進します。			
② 社会の変化に対応した専門知識と指導力を持つ教職員を育成します。			
③ 地域の人材や専門家、学生などに教育現場への協力を求め、幅広い教育の充実を図ります。			
④ 社会や仲間たちとの心のふれあいを重視した道徳教育の充実を図ります。			

2) 安全・安心で地域に開かれた学校づくり

2013 2016 2020

① 地域住民と児童生徒がふれ合う機会の充実を図ります。			
② 児童生徒、障害児、地域住民が安心して学校が利用できるように努めます。			
③ 避難訓練や防犯訓練を定期的に行い、児童生徒の安全意識を高めます。			
④ 不審者の侵入対策、通学路での防犯対策を推進します。			

評価対象事業
体力向上プロジェクト推進支援事業

3) 学校施設・設備の整備・充実

2013 2016 2020

① 安全性や快適性の向上を図るため、老朽化した校舎や設備の改修及び改築を推進します。			
② 学校施設への省エネルギー設備の導入を推進します。			
③ 児童生徒の情報処理能力を高めるために、情報教育設備の充実を図ります。			

4) 児童生徒へのきめ細かな対応

2013 2016 2020

① スクールカウンセラー、心の教室相談員などを活用し、いじめや不登校などの教育相談体制の充実を図るとともに、子どもや保護者などからの相談に対応するセンター機能を整備します。			
② 学校外施設である適応指導教室の充実を図り、不登校児童生徒への多様な支援を行います。			
③ 少人数授業の充実を図り、児童生徒の基礎学力を高めます。			
④ 保護者、地域、学生などの教育力をいかし、発達障害のある児童生徒への支援を推進します。			

評価対象事業
部活動指導者活用事業

5) 学校給食の充実

2013 2016 2020

① 給食指導や食育授業を実施して食の大切さを学ぶとともに、旬の食品を取り入れた献立、リクエスト献立などを実施し、おいしい給食にします。			
② 第一学校給食センターの建替えを検討するとともに、調理器具の更新を推進します。			
③ 地産地消の推進や施設の適切な維持管理などにより、安全な給食を供給します。			

子どもの感性豊かな心と健やかな体を育むためには、家庭、地域、学校が一体となって子どもの成長を見守っていくことが大切です。地域や学校といった社会の中で、人との関わり方や共同生活でのルールを学ぶことができるように努めます。

 <p>市民の役割</p> <p>保護者として、子どもの成長を支え、地域や学校との連携に努めます。</p> <p>自 助</p>	 <p>団体・事業者などの役割</p> <p>子どもが、地域の中で学び、社会や人と関わりを意識し、個性と可能性を伸ばすことができる環境づくりに努めます。また、子どもの安全に目を配り、交通事故や犯罪から守ります。</p> <p>互 助</p>	 <p>行政の役割</p> <p>教育環境の整備とともに、確かな学力と心豊かな人間性を身につけた子どもの育成に努めます。また、家庭や地域と連携し、社会全体で子どもを育てる環境の整備に努めます。</p> <p>公 助</p>
---	---	--

刈谷市施策評価シート(② 小施策 推進状況)

施策の内容(小施策)	スポーツ活動プログラムの充実	担当課	スポーツ課
		関係課	

●目標指標

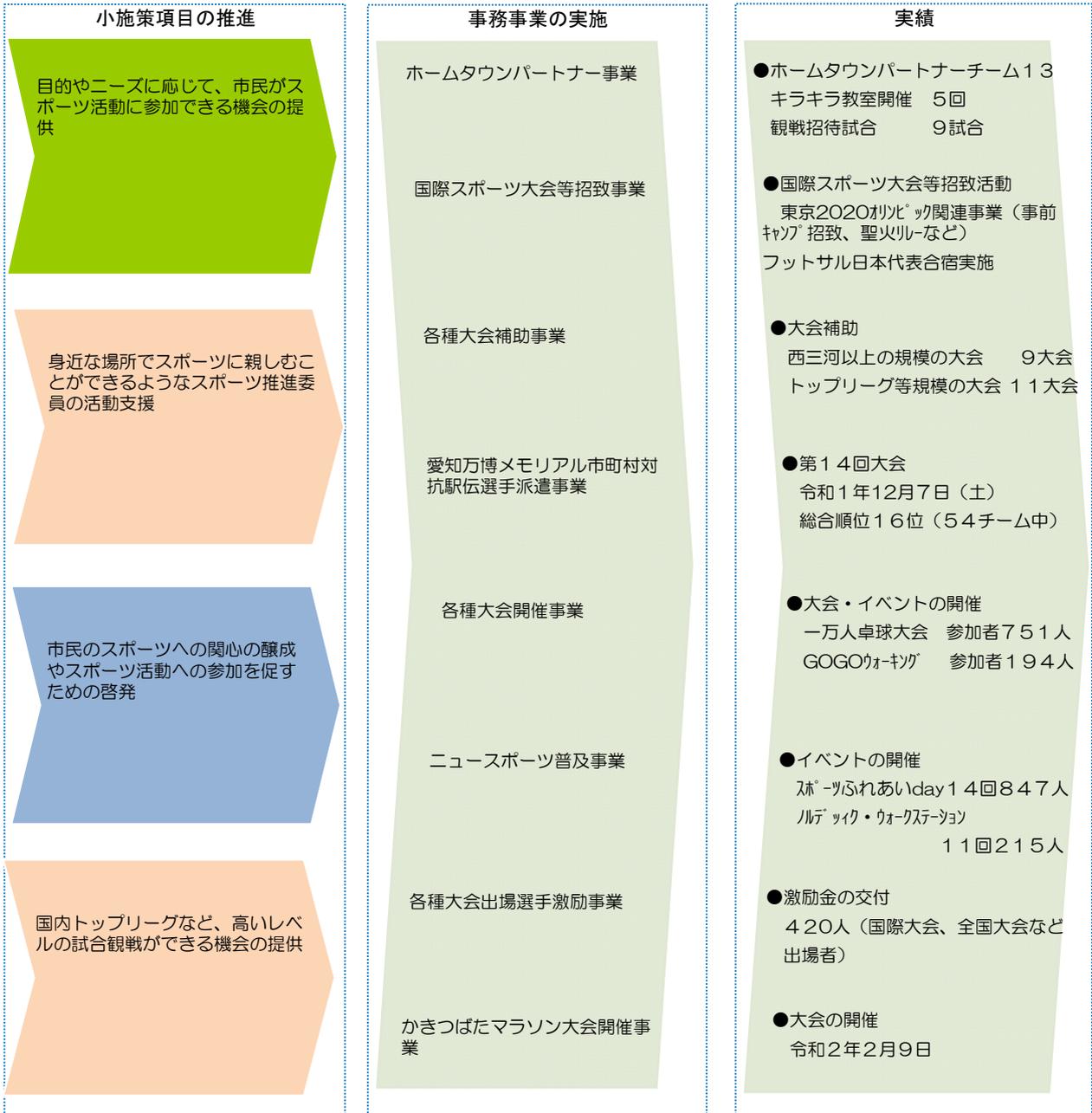
	現状分析	名称	単位	実績値			目標値	
				平成29	30	令和1	2	
〔1〕	○	活動	各種大会、イベント参加者数	人	27,635	24,204	24,162	—
〔2〕	—	成果	成人のスポーツ実施率(週1回以上)	%	38.8	—	—	65.0 (2028年度)
〔3〕	○	成果	全国大会等への出場者数(市から激励金を交付した人数)	人	453	494	420	530
〔4〕	○	活動	各種大会各種補助件数	件	16	22	20	22

【注】◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

●他市町村との比較検証

比較項目	全国大会等への出場者数(市から激励金を交付した人数)						単位	人
刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		—	
420	104	373	70	88	35		—	
備考								

事業実績



成果と課題

成 果

◆ スポーツ教室やスポーツ大会の開催、国内トップリーグの試合の誘致やスポーツ大会などの場における参加機会の提供などにより、「する・みる・ささえる」という多様な側面から、市民がスポーツ活動に参加できる機会の提供ができています。

◆ スポーツ推進委員の活動支援により、推進委員の地域における活動の円滑化や市民がスポーツをはじめのきっかけづくりなどが図られ、市民のスポーツ活動の推進に繋がっている。

◆ 情報提供や大規模なスポーツイベントの誘致・開催などにより、市民のスポーツへの関心の醸成やスポーツ活動への参加促進が図られている。

課題の整理

○ スポーツ実施率は上昇傾向にあるものの、性別では女性、年代別では20歳代から50歳代で割合が低くなっており、子育て中の人や働く世代など、ライフステージやライフスタイルに応じた多様なプログラムの提供の充実に努めていく必要がある。

○ 市民がスポーツに興味を持ち、取り組むためには、必要な情報を、必要な人へ効果的な方法で情報提供することが重要であり、市民だよりやホームページ、リーフレットなど様々なツールを活用した情報の提供に加え、口コミ効果の期待されるSNSの活用など、新たな切り口で情報を提供していく必要がある。

○ スポーツを見て、喜びや感動を得ることで、日々の生活の活力につながるとともに、スポーツへの参加のきっかけとなることが期待されるので、引き続き、本市の恵まれたスポーツ環境を活かし、全国レベルの大会や国際スポーツ大会等の誘致などにより、「みるスポーツ」の推進に努める必要がある。

今後の方向性

「スポーツ」を幅広くとらえ、競技種目や学校体育のみならず、レクリエーション活動、散歩やジョギングなど、楽しむことや健康づくりなどを目的に軽く体を動かす活動についても「スポーツ」として捉えるとともに、スポーツへの関わり方としては、スポーツを「する」ことだけでなく、「みる」「ささえる」こともスポーツ振興に向けた重要な要素として捉えたいうえで、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に関わることができるよう、引き続き、活動プログラムの充実に努め、多様な側面から市民がスポーツ活動へ参加できる機会を提供していく。

ホームタウンパートナー事業

1 ホームタウンパートナー連絡会（年3回）



2 啓発活動

（1）啓発物品の作成

- リーフレット【7,500部（市内中学校配布分4,500部含む）】、
うちわ（2,000部）の作成
- オアシス館刈谷展示パネルの作成（適宜実施）



- スポーツパーク通信の発行

（2）啓発活動

- ①市民だよりでの広報
- ②市ホームページでの広報
- ③ウイングアリーナ刈谷館内・外での啓発活動
- ④刈谷駅南北連絡通路での啓発活動
- ⑤刈谷市役所内・外での啓発活動
- ⑥刈谷駅前観光案内所での啓発活動
- ⑦刈谷ハイウェイオアシスにおける啓発活動
- ⑧刈谷わんさか祭りでの啓発ブースの出店等による啓発

3 キラキラ教室

【目的】

刈谷市内の小中学生を対象に、刈谷市ホームタウンパートナーである各チームの選手及びスタッフが各競技のスポーツ教室を行い、小中学生に各スポーツの技術や楽しさだけでなく、夢を持って努力することの大切さを伝えることを目的とする。

【対象】

刈谷市内の小・中学校で、講師が専門とする競技の部活動に所属する児童・生徒

【キラキラ教室の様子】



【ハンドボール】



【男子バスケットボール】



【男子バレーボール】



【女子バレーボール】



【女子バスケットボール】



【サイン会】

会計名			ホームタウンパートナー事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国や世界で活躍するスポーツチームの情報等を市民に周知することで、地域に親しまれるチーム作りに寄与するとともに、「みるスポーツ」の促進を図り、本市の更なるスポーツの活性化に寄与する。	主たる内容	○ホームタウンパートナー連絡会の開催（年3回） ○刈谷キラキラ教室の開催 ○ホームタウンパートナーチーム啓発用リーフレット等の作成 ○ウィングアリーナ（WA）刈谷等での啓発活動の実施					
	位置づけ	関連計画		第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令							
		対象者	市民、ホームタウンパートナーチーム	事業期間	平成27年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B事業 D実績 O実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 12チーム ・連絡会の開催 3回 ・リーフレットやうちわ、横断幕等の作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 6試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 12チーム ・連絡会の開催 3回 ・リーフレットやうちわの作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 8試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 13チーム ・連絡会の開催 3回 ・リーフレットやうちわの作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 9試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー数 13チーム ・連絡会の開催 3回 ・啓発物品の作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 	
成果		国内最高レベルの試合を身近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、トップアスリートによるスポーツ教室、中学校部活動部員等のホームゲームへの招待等を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民スポーツの推進を図ることができた。また、特に教室参加者からは、意欲的な意見が多く寄せられるなど、競技意欲の向上が図られ、ジュニア世代の育成に一定の成果を得ることができた。							
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー制度の趣旨や目的に対する各チームや母体企業の理解の深化 ・事業を推進するにあたっての、各チームを始めとする関係各所との連携の一層の強化 ・パートナーチームに所属しない個人競技者への支援のあり方についての検討 							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		刈谷キラキラ教室実施回数（回）			3	2	5	3	3
活動指標									
他市との比較検証		トップレベルの多くの競技に身近で触れ合うことが出来る、全国的にもあまり類を見ない本市のスポーツ環境は、スポーツ振興を図る上で、本市の大きな強みとなっている。							
C事業 コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,056	424	815	1,344	合計	815,036 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	16,000 円	
		一般財源	1,056	424	815	1,344	需用費	773,980 円	
	職員人件費 ②		3,102	3,472	4,236	4,165	負担金、補助及び交付金	25,056 円	
	総事業費（①+②）		4,158	3,896	5,051	5,509			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			ホームタウンパートナー事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	様々な競技で、日本トップレベルのチームやアスリートが市内に数多く存在しているという、全国でも類まれな恵まれたスポーツ環境、すなわち、本市の強みや特性を活用した事業であり、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために非常に有益な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	事業の実施にあたっては、パートナーチームの理解の下、グッズや観戦機会の提供、地域貢献活動としての本市事業への積極的な協力などをいただいております。市民協働による取組みの推進として、事業の実施に係る効率や妥当性、費用対効果は高いと思われる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	住みよいまちづくりや市の魅力発信のために、市が市の強みや特性を活用した事業を主体的に実施することは、必要かつ不可欠なことであると思われる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第3次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、「する、みる、ささえる」スポーツを通じた魅力あるまちづくりに貢献している。
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	第3次刈谷市スポーツマスタープランでは、基本施策のスポーツを通じたまちづくりに位置付けられ、恵まれたスポーツ環境を有する本市だからこそ実施できる特色のある事業である。本事業は、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力向上・発信のために非常に有益となっていると思われるので、今後についても、各パートナーチームとの連携の強化等を図り、事業の一層の充実を目指していく。				

国際スポーツ大会等招致事業

1 フットサル日本代表練習合宿

期 間：2019年8月26日～8月28日

場 所：ウィングアリーナ刈谷

【合宿の様子】



2 東京2020オリンピック 事前キャンプ招致

(1) 覚書の締結

日 時：2020年1月16日（木）（カナダ トロント時間）

締結者：刈谷市長、カナダバスケットボール協会会長兼 CEO

（刈谷市バスケットボール連盟理事長 八木 雅彦 氏、
刈谷市スポーツ課長、広報広聴課長 同行）

内 容：カナダ女子バスケットボール代表チームは、東京2020オリンピック大会に出場する場合は、ウィングアリーナ刈谷を拠点として、同大会に向けた事前キャンプを行う。

【覚書締結の様子】



3 東京 2020 オリンピック聖火リレー（2021年に延期）

(1) 実施概要

場所：豊田町2丁目交差点→万燈通→秋葉神社前→於大通→県道48号線→
県道246号線→歴史博物館

内容：9区間約2kmのルートを守る。また、ゴールの歴史博物館駐車場で、
聖火到着を祝うセレモニーを実施する。

【聖火リレールート（太線）】



(2) サポートランナーイベント

- ・最終ランナーと、甲冑を身にまとして伴走し聖火リレーを盛り上げる「サポートランナー」を募集。

【イベントの様子】



会計名		国際スポーツ大会等招致事業				担当部	教育部	
一般会計						担当課	スポーツ課	
款	項					目	担当係	普及係
10	7					2		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	スポーツ					
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実					
	目的	国際スポーツ大会等を誘致することで、次世代を担う青少年に夢や希望を与えるとともに、スポーツとのふれあいを通じて、市民が主体的にスポーツと関わる「豊かなスポーツライフの実現」に取り組む。	主たる内容	○国際スポーツ大会等の招致活動の実施 ・誘致推進委員会の開催 ・関係機関や競技団体への訪問等による調査、情報収集及びPRの実施 ・東京2020オリンピック・パラリンピック参加国の事前キャンプ地の誘致 ・聖火リレー実施準備及び啓発 ・聖火リレー負担金				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令						
	対象者	市民、競技団体	事業期間	平成28年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績	2年度計画	
		・誘致推進委員会の開催 2回 ・バスケットボール女子日本代表国際強化試合の開催 ・フットサルリーグプレシーズンマッチの開催及び日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施		・誘致推進委員会の開催 1回 ・フットサルリーグプレシーズンマッチの開催及び日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 ・東京オリンピック出場予定国事前キャンプ団体へのプレゼンテーションの実施		・誘致推進委員会の開催 1回 ・フットサル日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 ・カナダバスケットボール協会と事前キャンプの覚書締結	・誘致推進委員会の開催 2回 ・フットサル日本代表練習合宿の受入れ ・競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 ・事前キャンプ実施に向けた準備	
成果		フットサル日本代表練習合宿を受入れ、ハイレベルな競技に触れ合う機会を多くの市民に提供することができた。また、本市の大会運営能力の高さを国内外の関係者にアピールすることができた。さらなる国際大会等の開催等を目指し、アジア競技大会組織委員会等関係団体との情報交換や本市の取組みの提案、東京オリンピック競技大会出場国キャンプ地誘致に係る覚書をカナダバスケットボール協会と締結することができた。						
課題		・聖火リレー及びカナダ代表女子バスケットボールチームの事前キャンプに向けての、機運醸成を図る。						
O 実施	指標名称（単位）		実績値		目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
	活動指標	国際スポーツ大会等誘致推進委員会開催回数（回）	2	1	1	2	2	
	指標							
他市との比較検証	2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地の誘致について、愛知県内では刈谷市の他、碧南市、豊田市、安城市など17の自治体が誘致を目指している。（※あいちスポーツコミッションHPより）							
C 事業コスト	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①	4,632	3,784	6,761	41,923	合計 6,760,961 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 32,000 円	
		一般財源	4,632	3,784	6,761	41,923	旅費 1,867,138 円 需用費 124,866 円 委託料 3,633,957 円	
	職員人件費 ②	3,490	4,629	5,391	12,495	負担金、補助及び交付金 1,103,000 円		
	総事業費（①+②）	8,122	8,413	12,152	54,418			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0						

会計名			国際スポーツ大会等招致事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	ハイレベルなスポーツ競技大会を開催することで、「スポーツのまち刈谷」を内外にアピールするとともに、本市における更なるスポーツ振興が図られ、スポーツを通じた青少年の健全育成、生きがいづくり等、本市のまちづくりに大きく寄与するものである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	他市にはない本市の特性を生かした取組みであり、スポーツを通じたまちづくりを推進するために適している事業の1つである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	スポーツを通じたまちづくりを推進するために、市が主体となって実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	第3次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民スポーツ」の実現に向け、その施策の1つである「みるスポーツ」の推進を図る上で、貢献度の高い事業である。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
第3次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民スポーツ」の実現に向けた施策の1つとして、今後も事業の拡大を図り、国際スポーツ大会等の誘致を積極的に実施し、スポーツを通じたまちづくりを推進する。					

各種大会補助事業

1 体育振興補助金

【目的】

各競技の向上と選手相互の交流、青少年の健全な育成、スポーツの普及振興へ寄与する。

【内容】

全国大会等開催事業に係る会場使用料相当分を補助する。

【補助事業】

- ① 愛知マスターズ陸上競技選手権大会
- ② 秋季・春季西三河高校野球大会
- ③ 全三河中学校卓球大会
- ④ 日本刈谷・中国蘭州交流少年野球大会
- ⑤ スーパーエイジサッカー大会イン刈谷
- ⑥ 中部バドミントン選手権大会
- ⑦ 西三河支部対抗オールスター軟式野球大会
- ⑧ 刈谷市少年剣道大会
- ⑨ 選抜刈谷サッカー大会

2 各種大会補助金

【目的】

刈谷市で開催される全国規模の大会の誘致を推進することで、競技者の拡大と競技力向上及び競技団体の強化を図るとともに、市民への「みるスポーツ」の契機として生涯スポーツ振興に寄与する。

【内容】

全国大会等開催に係る会場使用料相当分を補助する。

【補助事業】

- ① 2018－19Bリーグ刈谷大会
- ② 東海社会人サッカーリーグ
- ③ 日本女子ソフトボールリーグ1部刈谷大会

- ④ 日本ハンドボールリーグ刈谷大会
- ⑤ 全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会
- ⑥ Bリーグ アーリーカップ 2019TOKAI
- ⑦ WJBLバスケットボール刈谷大会
- ⑧ 2019-20Bリーグ刈谷大会
- ⑨ バドミントン S/Jリーグ
- ⑩ 天皇杯・皇后杯全日本バスケットボール選手権大会
- ⑪ V・リーグ愛知（刈谷）大会



Bリーグ（バスケットボール）



東海社会人サッカーリーグ



日本女子ソフトボールリーグ



日本ハンドボールリーグ



全国選抜大学・実業団相撲



V・リーグ（バレーボール）

会計名			各種大会補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	トップリーグをはじめとする全国大会等を開催することにより、競技者の拡大、競技団体の強化を図ると共に観戦機会を提供し、市民のスポーツ振興を図る。	主たる内容	○トップリーグをはじめとする全国大会等の運営補助						
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市スポーツ協会へ関連する競技団体	事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		日本女子ソフトボールリーグを始めとする16の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする22の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする20の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする22の大会に補助金を交付する。		
成果		全国レベルの大会等を誘致することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、「みる・ささえるスポーツ」を通じて、スポーツ活動に参加できるきっかけづくりを行った。また、青少年がスポーツに親しみ、競技力の向上や幅広い交流を行う機会を支援し、青少年の健全育成を図った。								
課題		みる、ささえるスポーツを通じて、本市の更なるスポーツ振興をはかるため、事業を充実させ、全国大会や世界大会の積極的な誘致を行う。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		大会数（大会）			16	22	20	22	22	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		11,879	28,662	12,594	24,244	合計 12,593,520 円			
	財源	特定財源	0	2,850	0	0	負担金、補助及び交付金 12,593,520 円			
		一般財源	11,879	25,812	12,594	24,244				
	職員人件費 ②		1,163	1,350	1,309	1,287				
	総事業費（①+②）		13,042	30,012	13,903	25,531				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			各種大会補助事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が、主体的にスポーツに親しむきっかけとなり、生涯スポーツ社会の実現に向け、必要な事業であると考えられる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	本市の有料施設使用料相当額分を補助するもので、使用料は市の歳入となり相殺されるため、本市として大きな負担なくトップレベルの大会誘致ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	スポーツの重要性を再認識してもらい、市民のスポーツ活動への動機づけを行うことで、本市のスポーツ活動の推進が図られ、市が主体となり積極的に推進する事業であると考えられる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」に向け、みるスポーツ等の観点から、市民がスポーツを楽しむことができる環境づくりに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
スポーツに対する市民ニーズが多様化している中、市民がさまざまなスポーツに触れる機会を設け、競技の普及、競技人口の拡大、競技レベルの向上等を目指すとともに、スポーツを楽しむことができる環境を整えることで、生涯スポーツの推進が図られる。重要な事業であり、今後も継続する必要がある事業と考えられる。					

愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派遣事業

1 大会概要

2005年に開催された「愛知万博」についてメモリアルイベントを通じ次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内各市町村の交流、市町村合併後の一体化の促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を主目的として実施する。

参加チーム数 54チーム（愛知県内全市町村）

コース 「愛・地球博記念公園」内、周回コース

区間・距離 9区間 28.7km

小学生男女(各 1.1 km)・中学生男(3.2 km)女(2.8 km)・ジュニア男(4.7 km)女(3.9 km)・一般男(4.8 km)女(3.2 km)・40歳以上(3.9 km)

2 令和元年度活動実績

月	日	活動内容
5	21	第1回県担当者会
6	11	第1回実行委員会
9	3	第2回実行委員会
10	3	第3回実行委員会
	25	第2回県担当者会
	27	練習会
11	3	練習会
	11	顔合せ会、練習会
	16	下見会
	17	練習会
	30	練習会
12	5	監督会議
	7	駅伝大会当日
1	5	反省会

【大会当日の様子】



【顔合せ会の様子】



【練習会の様子】



会計名 一般会計		愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派				担当部	教育部		
款	項	目	遣事業				担当課	スポーツ課	
10	7	2					担当係	指導係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市代表選手を派遣し、市民にPRすることで競技の普及を図るとともに刈谷市を含めた愛知県内の市町村スポーツ振興に寄与する。	主たる内容	市町村駅伝大会に刈谷市チームを編成し、派遣する事業を実行委員会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	選抜選手並びに実行委員	事業期間	平成18年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		各部門2名、計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第10位入賞		各部門2名、計18名の選手を選出し、4回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第11位		各部門2名、計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第16位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行う。 ・目標順位 第7位入賞 中止	
成果		大会を通じて愛知万博を次世代へ継承するとともに、競技者育成、市町村相互の交流及びスポーツ振興を図ることができた。							
課題		世代ごとの選手選考及び発掘が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		総合順位（位）			10	11	16	7	5
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		270	300	305	305	合計	305,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	305,000円	
		一般財源	270	300	305	305			
	職員人件費②		3,102	3,086	3,620	3,559			
	総事業費（①+②）		3,372	3,386	3,925	3,864			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派 遣事業		担当部	教育部
款	項	目			担当課	スポーツ課
10	7	2			担当係	指導係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	2005年に開催された愛知万博のメモリアルイベントを通じ、次世代に語り継ぐと同時に、愛知県内各市町村の交流、県民意識の高揚及びスポーツ振興を図る目的で開催される大会の趣旨に賛同して参加するとともに、スポーツの盛んなまち刈谷を内外にアピールできる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県市町村対抗駅伝競走大会刈谷市実行委員会へ事業委託することで、事務の効率化を図る。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	スポーツの盛んなまち刈谷を内外にアピールすることで、市内のスポーツ振興に寄与する。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	スポーツの盛んなまち刈谷を内外にアピールすることで、市内のスポーツ振興に寄与する。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
愛知県主催事業への参加型事業であるが、大会が続く限り参加し、スポーツの盛んなまち刈谷を内外にアピールすることで、本市の一層のスポーツ振興を図る。						

各種大会開催事業

1 第18回刈谷市卓球大会兼第54回一万人卓球大会刈谷地区大会

令和元年9月29日（日） ウィングアリーナ刈谷 参加者数751人



2 刈谷GOGOウォーキング

令和元年11月10日（日） 刈谷市体育館発着～東浦町自然環境学習の森
参加者数194人



刈谷市体育館発



チェックポイント（元刈谷神社）



準備体操



集合写真（ロングコース）

3 ユニホッケー大会

令和2年3月1日（日） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

一昨年大会の様子



会計名			各種大会開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	各種目毎に参加者相互の情報交換と交流を深めるとともに、スポーツの普及振興に寄与する。			主たる内容		○専門の知識と実績を有する団体等への事業委託による各種スポーツ大会の開催			
	位置づけ	関連計画					第3次刈谷市スポーツマスタープラン			
		根拠法令								
		対象者		市民		事業期間		～		
		実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 729人 ミニテニス 86人 ユニホッケー 84人 GOGOウォーキング137人 参加者数 計1,036人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 724人（中止） ユニホッケー 71人 GOGOウォーキング142人 参加者数 計213人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 751人 ユニホッケー 中止 GOGOウォーキング194人 参加者数 計945人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 中止 ユニホッケー GOGOウォーキング		
成果		市民が気軽に参加できる大会を開催することにより、選手間の交流が深められた。また、日頃のスポーツ活動の成果を発揮できる場を提供することにより、競技力や取組み意欲の向上を図ることが出来た。 誰もが、いつでも、どこでも、手軽に始められ、継続して行うことが出来るスポーツであるウォーキングの大会を開催することにより、普段スポーツに関わりの少ない市民にスポーツを始めるきっかけ作りを行うことが出来た。								
課題		・競技団体による自主的な大会開催への移行促進 ・競技者が大会に参加したくなるような効果的、効率的な啓発								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		各種大会、イベント参加者数（人）			12,994	12,191	12,657	13,000	13,000	
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		481	381	381	404	合計	381,285 円		
	財源	特定財源	135	106	118	140	役務費	52,650 円		
		一般財源	346	275	263	264	委託料	328,635 円		
	職員人件費 ②		1,939	1,543	1,925	1,893				
	総事業費（①+②）		2,420	1,924	2,306	2,297				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0			元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0			大会参加料 保険料実費徴収金					
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			各種大会開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	スポーツ教室の参加者や教室参加後に結成されたサークル等で活動を続けている人などに、日ごろの活動の成果の発表場や参加者の交流の機会を提供することにより、競技の普及振興、競技人口の拡大及び競技団体の育成を図ることを目的しているため必要の事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	競技人口が拡大するとともに、競技団体の組織強化が図られ、大会等の自主運営が可能となるなど、初期の目的を達成した大会については、順次、廃止あるいは競技団体主催へ移行している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	市が実技指導だけでなく、定期的に大会を開催することにより、スポーツをする人が大会に参加することを目標にして、継続的にスポーツに取り組む意欲を高めるのに必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	だれもが生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じ、主体的にスポーツに親しむことの出来る生涯学習社会の実現に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
競技団体として大会の自主的な運営が可能となるなど、競技団体に実施能力があり、サービスレベルも十分確保できるとされるものについては、競技の普及、競技人口の拡大といった競技団体としての設置目的に照らし、競技の専門性と民間団体としての柔軟性を活かした競技団体の自主事業として移行を進める。					

ニュースポーツ普及事業

1 スポーツふれあい day

開催年月日				事業名	場所	参加者数(人)		備考
						一般	スポ推	
令和	1年	5月	12日	前期スポーツふれあいday	富士松東小学校	29	13	
令和	1年	5月	19日		住吉小学校	75	7	
令和	1年	5月	26日		双葉小学校	69	11	
令和	1年	6月	16日		朝日小学校	50	12	
令和	1年	6月	22日		富士松北小学校	33	13	
令和	1年	6月	30日		小高原小学校	51	12	
令和	1年	7月	14日		ウィングアリーナ刈谷	34	19	
令和	1年	8月	3日		ウィングアリーナ刈谷	37	23	
令和	1年	9月	8日		ウィングアリーナ刈谷	37	24	
小計						415	134	
令和	1年	12月	14日	後期スポーツふれあいday	刈谷市体育館	126	26	
令和	2年	1月	12日		平成小学校	34	11	
令和	2年	1月	18日		小垣江小学校	27	10	
令和	2年	1月	19日		亀城小学校	65	10	
令和	2年	2月	22日		刈谷市体育館	180	30	
令和	2年	3月	1日		ウィングアリーナ刈谷	0	1	中止
小計						432	88	
合計						847	222	
				スポーツふれあいday				

【令和元年5月26日(日) 双葉小学校体育館】



ファミリーバドミントン



ミニテニス

【令和元年9月8日(日) ウィングアリーナ刈谷サブアリーナ】



準備体操



ソフトバレーボール

【令和2年2月22日（土） 刈谷市体育館アリーナ】



卓球



忍者ランド

2 ノルディック・ウォークステーション（毎月第4日曜日開催）

開催年月日		事業名	場所	参加者数（人）		備考
				一般	スボ推	
平成	31年 4月 28日	前期ノルディック・ウォークステーション	ウイングアリーナ刈谷	29	13	
令和	1年 5月 26日		刈谷ハイウェイオアシス	22	10	
令和	1年 6月 23日		ウイングアリーナ刈谷	27	17	
令和	1年 7月 28日		フローラルガーデンよさみ	19	15	
令和	1年 8月 25日		ウイングアリーナ刈谷	18	18	
令和	1年 9月 22日		刈谷市体育館	15	11	
			小計	130	84	
令和	1年 10月 27日	後期ノルディック・ウォークステーション	ウイングアリーナ刈谷	21	15	
令和	1年 11月 24日		刈谷ハイウェイオアシス	12	13	
令和	1年 12月 22日		ウイングアリーナ刈谷	16	9	
令和	2年 1月 26日		刈谷市体育館	12	13	
令和	2年 2月 23日		ウイングアリーナ刈谷	22	13	
令和	2年 3月 22日		あいち健康の森公園	2	2	中止
			小計	85	65	
ノルディック・ウォークステーション			合計	215	149	

【令和元年4月28日（日） サイクリングロードコース】



会計名		ニュースポーツ普及事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	普及係	
10	7					2			
PLAN概要 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	生涯スポーツの振興にあたり、市民が手軽に楽しめる環境づくりを推進するため、ニュースポーツを広く紹介する。		主たる内容	○刈谷市スポーツ推進委員協議会への委託によるスポーツふれあいday等の開催				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・スポーツふれあいdayの開催 14回 一般参加者数 504人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数11回 一般参加者数 266人		・スポーツふれあいdayの開催 12回 一般参加者数 436人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数12回 一般参加者数 270人		・スポーツふれあいdayの開催 14回 一般参加者数 847人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催回数11回 一般参加者数 215人		・スポーツふれあいdayの開催（支部開催及び全体会） 種目 ノルディック・ウォーク ファミリーバドミントン ポッチャ等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催（月1回）	
成果		子どもから高齢者まで、多くの市民に、スポーツを始める、スポーツに親しむきっかけ作りを行うことができた。ノルディックウォークのアンケートによると、継続的に参加されている市民が多く、継続して運動する場を提供することができた。							
課題		・スポーツをしていない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加したくなるような効率的、効果的な啓発 ・競技種目の継続実施を希望する方々に向けた、既存競技団体等への橋渡しや受け皿の確保 ・効率的なイベント開催によるスポーツ推進委員の負担の軽減							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		スポーツふれあいday等開催回数(回)			25	24	25	27	27
成果指標		スポーツふれあいday等一般参加者数(人)			770	706	1,062	930	930
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		200	200	540	493	合計	540,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	190,000 円	
		一般財源	200	200	540	493	委託料	200,000 円	
	職員人件費 ②		1,163	1,543	1,925	1,893	備品購入費	150,000 円	
	総事業費（①+②）		1,363	1,743	2,465	2,386			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			ニュースポーツ普及事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	スポーツをしていない市民がスポーツ活動に参加できる機会の拡大を図るために必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地域スポーツの推進役であるスポーツ推進委員による「スポーツふれあいday」を開催し、市民が継続してスポーツに取り組むよう努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民がスポーツに興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加できるようにするために必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	世代や性別に関係なく、だれもが取り組むことができるニュースポーツの普及に努めている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
全ての市民にとってスポーツは健康の維持増進、体力向上、生きがいの創出など、心身ともに健康を維持するうえで重要な役割を果たしている。 だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に取り組めるよう、さまざまなプログラムの充実を図り、スポーツ活動に参加できる機会の拡大を図る。					

各種大会出場選手激励事業

1 目的

全国大会等に刈谷市から出場する選手に対して激励金を交付することにより、大会での活躍を激励するとともに、各競技の技術力向上と普及振興を図る。

2 区分

区分		対象となる大会	激励金の額
国際大会	第1号該当	オリンピック競技大会	1人につき 50,000円以内
		世界選手権大会、ユニバーシアード大会、アジア選手権大会その他これに準ずる大会	1人につき 30,000円以内 1団体につき 300,000円以内
	第2号該当	国際競技連盟又はこれに準ずる団体が主催するアジア地域以上の大会であって、市長が国際大会と認める大会	1人につき 15,000円以内 1団体につき 150,000円以内
全国大会	第3号該当	国民体育大会、全日本選手権大会その他これらに準ずる大会	1人につき 10,000円以内 1団体につき 100,000円以内
	第4号該当	全国青年大会、全国高等学校総合体育大会（全国高等学校定時制通信制大会を含む）又は公益財団法人日本スポーツ協会若しくは同協会に加盟する競技団体その他これに準ずる団体が主催する全国大会	1人につき 5,000円以内 1団体につき 50,000円以内
	第5号該当	全国過半数の都道府県又は地区の代表が参加する大会又は全国を統括する競技団体若しくは全国過半数の都道府県に支部を有する団体が主催する大会	1人につき 3,000円以内 1団体につき 30,000円以内

3 令和元年度実績

激励金内訳	人数	金額
世界選手権・ユニバーシアード・アジア選手権	17	510,000
その他アジア地域以上の国際大会	3	45,000
国体・全日本選手権等	60	600,000
全国大会（日ス協主催）	281	1,405,000
その他全国大会	59	177,000
計	420	2,737,000

【激励金を交付する様子（国民体育大会刈谷市出場選手壮行会）】



会計名			各種大会出場選手激励事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国大会等に刈谷市から出場する選手に対して激励金を交付することにより、大会での活躍を激励するとともに、各競技の技術力向上と普及振興を図る。	主たる内容	国際大会、全国大会等に出場する選手に激励金を支給し大会での活躍を祈念する。					
	位置づけ	関連計画		第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン					
		根拠法令							
		対象者	全国大会出場届提出者	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・交付人数 453人 ・交付金額 3,019,000円		・交付人数 494人 ・交付金額 3,294,000円		・交付人数 420人 ・交付金額 2,737,000円		・交付見込人数 530人 ・交付見込金額 4,665,000円	
成果		本市から世界大会や全国大会等へ出場する選手に対して、激励金を交付することにより大会の活躍を願い激励した。また、各種大会出場選手への激励並びに補助を行い、スポーツ振興と競技力向上に努めるとともに、全国大会等出場選手の把握に努めることができた。							
課題		平成29年度より交付基準の改正をおこなったため、各種大会出場選手に対して各種大会出場選手激励事業の交付基準を広く周知していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	交付人数（人）		453	494	420	530	550		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,019	3,294	2,737	4,665	合計		2,737,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		2,737,000 円
		一般財源	3,019	3,294	2,737	4,665			
	職員人件費 ②		1,163	1,350	1,309	1,287			
	総事業費（①+②）		4,182	4,644	4,046	5,952			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会出場選手激励事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	激励金を交付し、全国大会等に出場する選手を支援することで、本市から輩出されるトップアスリートの育成に努めるとともに、スポーツのまちかりやのPRに寄与することが見込まれる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	交付金額等は各自治体まちまちであり、平均的なレベルである。本市に在住在勤のトップレベルのアスリートの把握に効果的である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	スポーツの盛んなまちかりやを目指すために、市が主体となって進める事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	競技者の育成、拡大の観点から、本事業は効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
制度を知らない市民が多くいると考えられることから、制度の周知方法の検討を行う。また、交付金額等、現基準の見直しの必要性がある。					

かきつばたマラソン大会開催事業

日 時 令和2年2月9日（日） 9時20分～

場 所 ウェーブスタジアム刈谷スタート

参加者 1,769人

一般男子 10 km (29歳以下 164人、30～49歳 460人、50歳以上 323人)、
一般女子 10 km (190人)、中学男子 3 km (62人)、中学女子 3 km (34人)、
ジョギング 3 km (436人)、小学男子 1.5km (63人)、小学女子 1.5km (37人)

参加料 一般男女部 2,000円、中学男女部 700円、ジョギング部 700円、
小学男女部 700円

イベント トヨタ紡織陸上部によるマラソンクリニック、シーホース三河スーパー
ガールズや総合型地域スポーツクラブキッズチアがランナーを応援、
ホームタウンパートナーチームグッズ等の抽選、協賛ブースの出展など



受付の様子



トヨタ紡織陸上部マラソンクリニック



ブース展示



キッズチア

【マラソン大会の様子】



会計名		かきつばたマラソン大会開催事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	指導係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	マラソン競技者の拡大及び市民のスポーツ競技の参加意欲の増進を図り、体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図る。		主たる内容	年齢別男女別の1.5km、3km、10kmのマラソンコースと誰でも気軽に参加できるジョギングコースを設定し市民マラソン大会を開催。				
	位置づけ	関連計画			第2次・第3次刈谷市スポーツマスタープラン				
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和48年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,852人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,868人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,769人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。市制施行70周年を記念して、ゲストランナーを迎えるとともに、1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、2,000人の参加者を見込む。	
成果		申込期間を早めたことにより参加者への事前送付を余裕をもって行うことができ、氏名等の誤りが生じることなく大会が行えた。また、刈谷市ホームタウンチームの協力により参加賞等を充実させることで好評を得ることができ、市民の体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図ることができた。							
課題		参加者の安全面を第一に配慮した企画運営を実施し、引き続き参加者数に対応したコース変更の検討が必要である。また、本市の特色をさらに生かし、参加者のニーズにあった本大会の方向性の検討が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		参加者数（人）			1,852	1,868	1,769	2,000	2,000
指標									
他市との比較検証		県内の多くの自治体で、同様の市民マラソン大会が実施されている。（知立市・安城市・岡崎市・東浦町・大府市・高浜市・みよし市・犬山市など）							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,014	1,985	1,989	4,118	合計 1,988,500 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 16,000 円		
		一般財源	2,014	1,985	1,989	4,118	原材料費 368,500 円		
	職員人件費 ②		3,877	4,244	4,852	5,149	負担金、補助及び交付金 1,604,000 円		
	総事業費（①+②）		5,891	6,229	6,841	9,267			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			かきつばたマラソン大会開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	一市民スポーツの振興を図るため、幅広い年代が気軽に市民が参加できる事業として必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	かきつばたマラソン大会実行委員会へ事業補助金を交付することにより、事務の効率化を図る。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	第7次刈谷市総合計画では、スポーツ活動プログラムの充実として、市民がスポーツ活動に参加できる機会の提供を掲げており、計画推進に必要な事業であると考えられる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	多くの市民がスポーツに親しみ、スポーツ活動に参加できる機会を提供する環境づくりにおいて、貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民が生活の中でスポーツに興味や関心を持つため、スポーツに参加できる機会を設けることで、気軽にスポーツをはじめめるきっかけづくりや体力の向上及び健康増進を図る。 また、市民がスポーツ活動をする形態として、自分一人や、家族、友人など個人やごく身近な人との少数での活動が多くなっている現状の受け皿として、市民ニーズに即した事業の推進を図る。					

体力向上プロジェクト推進支援事業

【目的】

体育の授業や外遊びで活用できる運動種目について、教員の知識・技能を高め、指導力を向上させることにより、児童生徒の体力向上を促進する。

【平成31年度実績】

○ 先生方を対象とした講習会		
(小学校講習会)		
～刈谷体操第2(COT)へ挑戦!～		
①	令和元年5月14日(火) 15:30～16:30	富士松北小学校体育館
	【参加校】 北部地区5小学校	【参加者：43名】
②	令和元年5月15日(水) 15:30～16:30	小高原小学校体育館
	【参加校】 中部地区5小学校	【参加者：27名】
③	令和元年5月22日(水) 15:30～16:30	朝日小学校体育館
	【参加校】 南部地区5小学校・特別支援学校	【参加者：43名】
		
(幼稚園・保育園講習会)		
～動物まねっこ体操、刈谷体操第1(COT)に挑戦!～		
	令和元年5月24日(金) 15:15～16:45	富士松中学校体育館
		【参加者：87名】
(中学校講習会)		
～刈谷体操第1、2(COT)の普及!～		
	令和元年5月28日(火) 15:00～16:40	刈谷南中学校体育館
		【参加者：34名】
○ 講師		
東郷町施設サービス株式会社 T I S 健康事業部長 巢立 隆宏		

○ 外遊び検定

1 ねらい

市内統一で「外遊び検定」を実施することで、外遊びを奨励し、積極的に外に出て遊び、体力の向上を図ることのできる子どもを育てる。

2 外遊び検定の内容

(1) 1～3年生

遊具遊びカードに基づき、「のぼりぼう」「てつぼう」「うんてい」「竹馬」「一輪車」「フラフープ」の6種類の遊びに挑戦する。

(2) 4～6年生

『ドッジボール』を重点種目として取り組み、投力の向上を図る。

<遊具遊びカード・活動の様子>

遊ぶべき遊具遊びカード		年 組 名 前【 】	
別添市立 小等校 【外遊び検定プロジェクト】			
のぼりぼう	1	2	3
	4	5	6
	7	8	9
	10	11	12
	13	14	15
	16	17	18
	19	20	21
	22	23	24
てつぼう	25	26	27
	28	29	30
	31	32	33
うんてい	34	35	36
	37	38	39
	40	41	42



【成果と課題】

小6女子	(Kg)	(m)	(秒)	(cm)	小6男子	(Kg)	(m)	(秒)	(cm)
	握力	ボール投げ	50m走	長座体前		握力	ボール投げ	50m走	長座体前
31市平均	18.4	15.6	9.2	43.0	31市平均	18.7	24.2	9.0	38.1
29国平均	19.6	16.3	9.1	40.0	29国平均	20.0	26.8	8.8	35.4
30市平均	18.4	15.2	9.2	41.8	30市平均	18.7	24.5	8.9	37.3
28国平均	19.7	16.5	9.2	40.1	28国平均	19.8	27.2	8.8	36.0
29市平均	19.1	15.3	9.2	40.7	29市平均	18.3	23.6	9.1	36.0
27国平均	19.7	16.5	9.1	40.4	27国平均	20.3	27.4	8.8	35.6

体力テストの結果から、本市の子どもたちは、国に比べて柔軟性に優れていて、握力、投力、走力に課題があることが分かった。

今後は、コーディネーショントレーニング（COT）と握力・投力・走力向上に向けた講習会を実施し、教員の知識・技能を高め、指導力を向上させることにより、児童生徒の体力向上を促進していきたい。

会計名			体力向上プロジェクト推進支援事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	学校教育課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	教員を対象とした講習会を実施し、児童生徒の体力向上及び教員の体育指導力向上を図る。			主たる内容	各種トレーニングやスポーツの専門家による体づくり運動指導会・講習会事業を委託する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者			事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育園と中学校の指導者を対象に、体づくり運動講習会を実施 小学生を対象に体づくり運動指導会を実施 小学校低学年の体育授業でコーディネーショントレーニングの定着化 小学校外遊び検定の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育園と中学校の指導者を対象に、体づくり運動講習会を実施 小学生を対象に体づくり運動指導会を実施 小学校低学年の体育授業でコーディネーショントレーニングの定着化 小学校外遊び検定の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育園と中学校の指導者を対象に、体づくり運動講習会を実施 小学生を対象に体づくり運動指導会を実施 小学校低学年の体育授業でコーディネーショントレーニングの定着化 小学校外遊び検定の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に体づくり運動指導会を実施 小学校低学年の体育授業でコーディネーショントレーニングの定着化 小学校外遊び検定の実施 	
成果		指導対象年代別の講習会の実施を通して、コーディネーショントレーニングの理解が進み、多くの学校の体育の授業にコーディネーショントレーニングが取り入れられるようになってきた。また、幼稚園や保育園の指導者への講習会を実施することにより、幼児期の運動遊びの必要性を感じられるようになった。小学校での外遊び検定を実施することで、体力向上に対する教員の意識も高まってきた。							
課題		コーディネーショントレーニングを学校体育に定着させるために、講習会の実施を継続したい。体力テストで依然として伸び悩んでいる「握力」、「ボール投げ」の力をつけさせるための工夫が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標	小学校5年、6年と中学生の体力テストの結果で男女とも全国平均を下回る種目数（個）		29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
指標			24	22	15	15	10		
他市との比較検証	近隣で同様の事業を行っている市町はない。								
C 事業 コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		300	300	300	300	合計	300,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	300,000 円	
		一般財源	300	300	300	300			
	職員人件費 ②		2,481	1,234	1,232	1,212			
	総事業費（①+②）		2,781	1,534	1,532	1,512			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

部活動指導者活用事業

【目的】

体育的、文化的な領域、分野で優れた技能・指導技術を身につけた方を中学校部活動の指導者として委嘱することにより、地域社会との連携とともに、部活動の活性化を図る。

【平成31年度実績】

平成31年度 中学校部活動指導者活用事業 指導者一覧

○指導者一覧

学校名	通番	新規	種 目	性	年齢	住所	年間 時数
刈谷南	1		弓道	男	73才	刈谷市	200
	2		陸上	男	74才	刈谷市	200
	3	○	音楽	女	18才	刈谷市	100
刈谷東	4		弓道	男	63才	刈谷市	200
	5		野球	男	48才	刈谷市	200
	6		ソフトテニス	男	58才	刈谷市	200
	7		剣道	男	70才	刈谷市	100
富士松	8	○	剣道	男	19才	一宮市	100
	9		弓道	男	58才	豊明市	200
	10	○	サッカー	男	39才	刈谷市	200
雁が音	11		弓道	男	73才	刈谷市	200
	12	○	サッカー	男	32才	阿久比町	200
	13	○	剣道	男	51才	刈谷市	200
依佐美	14		剣道	男	54才	刈谷市	200
	15		弓道	女	75才	刈谷市	200
	16		バレーボール	男	59才	刈谷市	200
朝 日	17		弓道	男	80才	刈谷市	200
	18		剣道	男	51才	刈谷市	100
	19	○	卓球	男	66才	西尾市	200
	20	○	卓球	男	61才	西尾市	200
	21	○	野球	男	56才	刈谷市	200

○学校別種目別外部指導者数

学校別	弓道	陸上	音楽	剣道	テニス	野球	サッカー	バレー	卓球	合計
刈谷南	1	1	1							3
刈谷東	1			1	1	1				4
富士松	1			1			1			3
雁が音	1			1			1			3
依佐美	1			1				1		3
朝日	1			1		1			2	5
合計	6	1	1	5	1	2	2	1	2	21

○学校別年代別外部指導者数

学校別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
刈谷南	1						2		3
刈谷東				1	1	1	1		4
富士松	1		1		1				3
雁が音			1		1		1		3
依佐美					2		1		3
朝日					2	2		1	5
合計	2	0	2	1	7	3	5	1	21

○住所別外部指導者数

住所	刈谷市	豊明市	西尾市	一宮市	阿久比町	合計
外部指導者	16	1	2	1	1	21

【成果と課題】

専門的な知識や技能を有する弓道や剣道の外部指導者の人数を確保したことで、生徒の技術向上や安全面に配慮して活動できた。

少しずつだが、外部指導者の年齢が高齢化してきた。また、市外の方を外部指導者に招いている学校も増えてきた。今後、多くの種別で地域の方を招くためには、市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ、発明クラブ、文化施設などと連携して人材を確保していく必要がある。

会計名			部活動指導者活用事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	学校教育課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	児童生徒へのきめ細かな対応							
	目的	専門の技能を有する人材を中学校の部活動指導者として委嘱することにより、地域社会との連携とともに、部活動の活性化を図る。			主たる内容	体育的、文化的な領域、分野で優れた技能・指導技術を身につけた方を中学校部活動の指導者として委嘱する。				
						主な種別 弓道、剣道、野球、サッカー、バレーボール、ソフトテニス、卓球、陸上、吹奏楽、オーケストラ				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	中学校	事業期間	平成15年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
中学校6校の部活動に外部指導者を委嘱した。		中学校6校の部活動に外部指導者を委嘱した。		中学校6校の部活動に外部指導者を委嘱した。		中学校6校の部活動に外部指導者を委嘱する。				
指導時間			指導時間		指導時間		指導時間			
19人		各200時間	14人	各200時間	17人	各200時間	19人	各200時間		
3人		各100時間	7人	各100時間	4人	各100時間	5人	各100時間		
計 22人		4,100時間	計 21人	3,500時間	計 21人	3,800時間	計 24人	4,300時間		
成果		生徒に専門的な技術指導をすることができるようになり、生徒のやる気を高めることができた。特に、弓道や柔道は、保健体育のカリキュラムで取り扱われておらず、専門的に指導できる技術をもつ顧問が少ないので、外部指導者を導入したことで、生徒の技術も向上し、また、活動における安全性を確保することができた。総指導時間数が増えてきたことで専門的な技術を取得し、大会等で大いに成果を上げている。								
課題		今後は、中学校からの外部指導者導入の要望を受け止めつつ、さらにより多くの種別の部活動で専門的な指導を受けることが望まれる。そうすることで、個々の生徒への指導が行き渡るとともに、生徒の意欲喚起を図ることが可能となる。また、教員の負担軽減にもつながる。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	運動部活動外部指導者（人）				22	21	24	24	27	
活動指標	一人当たりの平均指導時間（時間）				184	151	63	195	200	
他市との比較検証	高浜市：¥1000×6時間×50週×2人 60万円 知立市：¥4000×485回 194万円 安城市：剣道部のみ ¥42000×6校 25.2万円 碧南市：中学校5校 55名 ¥1500×1750回 325.5万円									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,818	3,210	3,920	4,343	合計	3,920,315 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	3,920,315 円		
		一般財源	3,818	3,210	3,920	4,343				
	職員人件費 ②		1,628	1,003	1,001	984				
	総事業費（①+②）		5,446	4,213	4,921	5,327				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								

第4章 点検・評価の結果

施策名	スポーツ活動プログラムの充実	担当課	スポーツ課
外部評価委員からの意見			
現状の評価	※現在の活動状況に対する意見		
<p>身近でトップレベルの競技が観戦できたり、ホームタウンパートナーの選手らによるスポーツ教室に参加したりすることにより、子どもたちは選手やその競技に夢や憧れを感じ、次世代育成につながると考える。経済的に恵まれない子どもたちも観戦や参加できる補助ができるとさらによいと考える。</p> <p>各種大会開催事業やニュースポーツ普及事業では、子どもや高齢者など様々な年代の市民が参加できており、スポーツに生涯を通して親しむ機会を提供できている。20～50歳代の参加がやや少ないようであるので、夜間や休日でも活動できる環境をさらに整えるとよい。</p>			
今後の方向性	※今後の教育委員会活動をより良くするために必要なこと		
<p>スポーツの多様な側面である「する」「みる」「ささえる」かかわり方を踏まえて施策を展開できているが、「ささえる」観点のアピールがやや弱い。各種イベントには、多くのボランティアが参加していると推察する。それらをデータ化し広く示すことで、更なるボランティアを得ることにつながると考える。また、市内にある唯一の大学である愛知教育大学と連携し、その物的・人的資源を活用すると更なる充実につながると考える。</p>			
その他意見等			
<p>数値目標を示し到達に向けて工夫し推進していることは評価できる。しかし、特にイベント等への参加人数を数値で示した場合は、量的な評価であり質的な評価には至っていない。したがって、参加したときの満足度などを4段階評定尺度などを用いてアンケート調査をすることで質的な評価も可能になると考える。</p>			
総 評	※活動全体についての意見		
<p>コロナ禍の中で、よく工夫されて施策が実施できていることは大いに評価できる。同様の規模の市で全国的にも類を見ないスポーツ環境を有し、それらを有効に活用でき成果をあげている。今後さらに「スポーツの町刈谷」を発信しアピールできることを期待している。</p>			
市の考え方			
<p>「する」「みる」スポーツについては、観戦機会や対象者の拡大、教室等の内容の拡充に向け取り組むとともに、ライフステージやニーズに応じた多様なプログラムの提供によりスポーツ実施率の向上を目指します。</p> <p>「ささえる」スポーツについては、本市の人的物的資源を生かし、様々な団体と協働するための仕組みづくりに努め、推進してまいります。</p> <p>また、事業を実施するにあたり、質的な評価を把握し、今後の事業に活用するためのアンケート調査の実施を検討します。</p> <p>今後も「する」「みる」「ささえる」の関わり方での事業のさらなる推進に努め、豊かなスポーツライフの実現を目指してまいります。</p>			

施策名	教育内容の充実 体力向上プロジェクト推進支援事業	担当課	学校教育課
外部評価委員からの意見			
内部評価の妥当性 ※事務事業評価結果（内部評価）の妥当性について			
<p>ビデオゲーム等の普及により、子どもたちが外遊びをすることが激減した状況を踏まえ、その改善を目指す本事業は的を得たものである。</p> <p>体力テストの結果を受け止め、小学校高学年において特に弱い握力や投力等の向上に向けた取り組み、小学校低学年における「外遊び検定」の実施による体の柔軟性の向上は評価できる。</p> <p>このような観点から内部評価は妥当であると判断できる。</p>			
今後の方向性 ※今後事業をより良くするために必要なこと			
<p>平成 31 年度から実施の「刈谷体操」の普及のために教員研修の実施や幼児を対象とした取り組みはその保護者等をも巻き込むことにつながり、市民全体への広がり期待している。DVD の貸し出しや YouTube での配信を積極的に進めてほしい。</p>			
その他意見等 ※施策全体についての意見			
<p>熱中症や新型コロナウイルス感染症の予防のため、運動する機会が制限されるのが現状であるが、継続は力となるので、工夫して取り組みを推進してほしい。</p>			
総 評			
<p>小学校高学年及び中学生の体力テストの経年の結果を比較すると、全国平均を下回っている項目が着実に減少しており、施策の成果を認めることができる。</p>			
市の考え方			
<p>今後も子どもたちの体力テストの結果を受けて、さまざまな事業を推進し、体力向上に努めていきたい。また、刈谷体操を小学校 1 年生から中学校 3 年生までの子どもたちがしっかり覚えられるように、DVD の貸し出しやホームページ上にアップするなどして、広報活動に努めていきたい。</p>			

施策名	児童生徒へのきめ細やかな対応 部活動指導者活用事業	担当課	学校教育課
外部評価委員からの意見			
内部評価の妥当性 ※事務事業評価結果（内部評価）の妥当性について			
<p>以前、小中学校での部活動は、教員だけに任せきりの状況であったが、近年の学校現場の多忙化や働き方改革による外部からの部活動指導者の導入は必要である。特に、武道など専門的技術や安全面の指導が必要な場合は、教員との協働により充実した成果があがるものとする。</p> <p>このような観点から内部評価は妥当であると判断できる。</p>			
今後の方向性 ※今後事業をより良くするために必要なこと			
<p>部活動指導者の種別を見ると、ほとんどが運動系のもので占められており、音楽系、科学系などの人材を広く確保して、文化的な内容も充実を図ってほしい。</p>			
その他意見等 ※施策全体についての意見			
<p>部活動指導者の年齢を見ると、50歳以上がほとんどである。市内に教育大学があり、将来教員となって部活動指導を担当することになる学生を活用すれば、年齢も近く子どもも親しみやすい。また、学生にとっても貴重な機会になると考える。より積極的な活用を期待する。</p> <p>弓道は、6つの全中学校で部活動指導者を活用している。全中学校に弓道部があるというのは刈谷市の特色であるので、今後も継続できるとよい。</p>			
総 評			
<p>精力的な活動がなされており、各競技で全国レベルの大会に出場できる選手の養成につながっている。</p>			
市の考え方			
<p>運動系の部活の中でも特に武道については、積極的に外部指導者を採用しており、技術的な指導を行うことができている。吹奏楽などの文科系の部活動については、専門知識を有する教諭がいることもあり、外部指導者の活用が進められてこなかったが、今後は働き方改革の推進を図っていくためにも、外部指導者の活用を検討していきたい。</p> <p>また、外部指導者には将来教員を目指す学生を採用していくなど、大学と協力を図り、効果的な活用に向けて取り組んでいきたい。</p>			

【参考資料】

1 教育大綱 平成28年度～令和2年度

育てたい子ども像

「自己肯定感と自己有用感に支えられ、確かな学力と体力を身に付けた、
当たり前前の方が当たり前前ができる子ども

知

『確かな学力の定着』

- きめ細やかな学習指導による基礎・基本の習得
- 学ぶ意欲を高めるための指導方法・指導体制の工夫・改善
- 教科指導の充実
- 教育の情報化による学習指導の向上



『豊かな心の育成』

徳

- 自己肯定感・自己有用感を高め、命を大切にする心や思いやる心の育成
- 規範意識の醸成
- 情操教育・豊かな体験活動・文化芸術環境の充実
- 刈谷のまちの歴史文化に誇りを持ち、大切にする心の育成

体

『健やかな身体づくり』

- 体力の向上
- 食育の推進
- 健康の増進



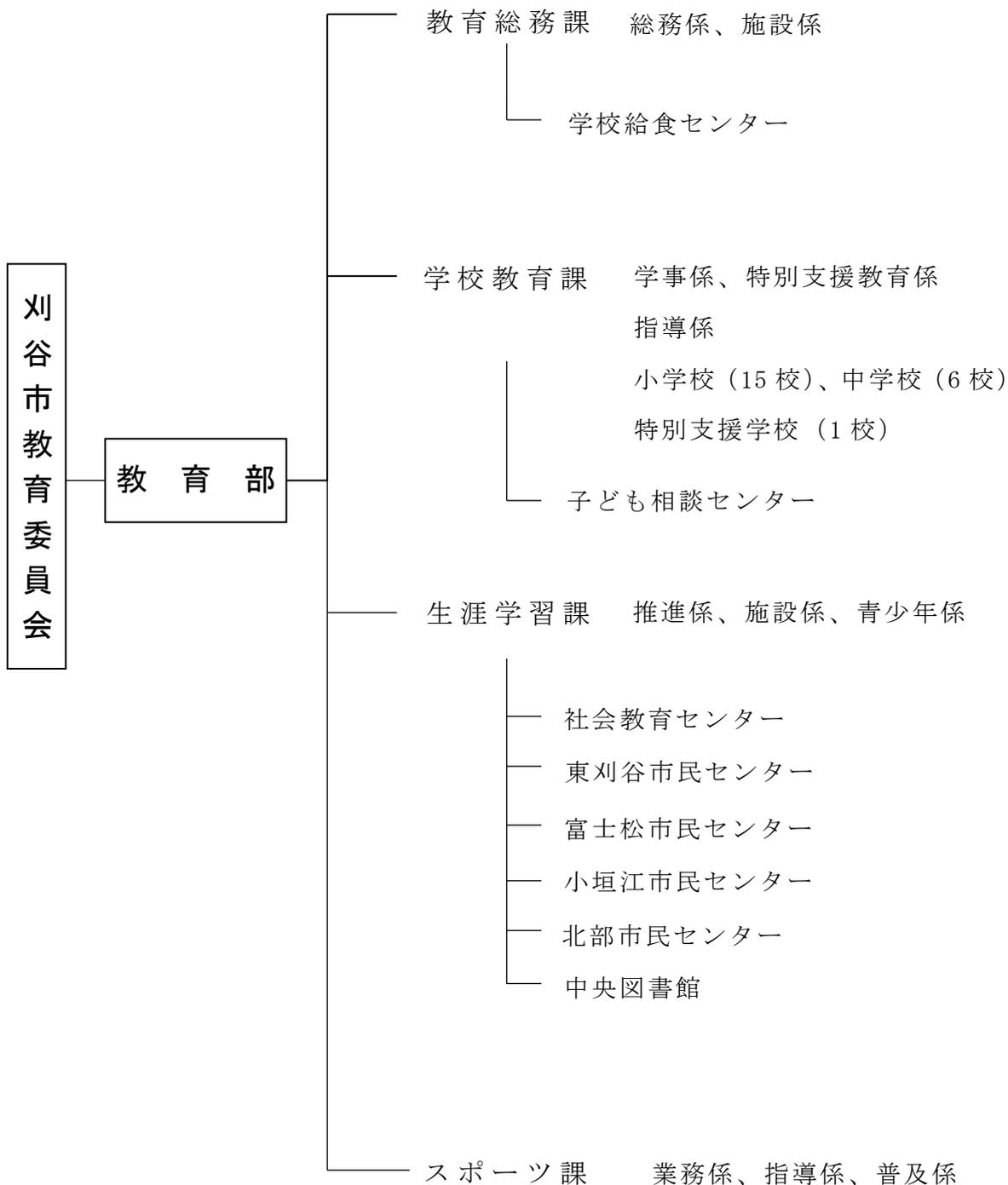
『学習環境整備・安心安全確保』

- 快適で安全な教育環境の整備
- 学習しやすい環境の確保
- 学校の安心・安全確保
- 青少年の健全育成

環

2 組織

(令和2年4月1日現在)



令和2年度（平成31年度事業対象）

刈谷市教育委員会点検・評価報告書

刈谷市教育委員会 教育総務課

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

電話 (0566) 62-1034 (ダイヤル) / FAX (0566) 25-1006